

ふれあい119



ぼうさい まもる
防災 守くん

『消防組合発足30周年記念式典が盛大に』

平成16年10月22日、北上地区消防組合発足30周年記念に伴う特別点検、訓練展示及び記念式典が盛大に行われました。



防災意識の向上をめざして



北上消防署長
小田島 雅 夫

昭和49年4月に、消防広域体制の常備化に伴い北上市、和賀町、湯田町、江釣子村、沢内村で北上地区消防等組合を発足し、住民皆様方の御協力と御理解の下、30年を迎えることができました。

今後、更に署員一同「安全・安心して暮らせる街づくり」のため、地域住民の生命・身体・財産の保護に一層傾注する所存であります。さて、昨年は新潟中越地震が発生し各地に甚大なる被害をもたらしました。この地震により、全国民が地震の恐ろしさ、震災対策の重要性を再認識されたものと思います。

私どもは、あらゆる災害から住民の安全を最優先に確保することを最重要課題として、防災対策を推進してまいりたいと考えておりますが、しかし、大地震が発生した場合、最も懸念されるのは、建物の崩壊と火災であり、これを最小限に防止するかが震災消防活動の成否を決定づける大きな要因であります。今後は、震災時の情報収集、消防団、地域防災組織及び行政機関との連携による初動態勢の確保等災害の推移に即応した訓練を行い、消防活動能力の向上に努めてまいる所存であります。住民一人一人に防災意識を持っていただき、本年も災害のない一年であることを念願するものであります。

平成17年2月 ●編集・発行／北上地区消防組合消防本部広報編集委員会

〒024-0083 北上市柳原町二丁目3番6号

TEL 0197-64-1122 FAX 0197-65-5170 災害情報案内 0197-65-5119

<http://www.firedp.kitakami.iwate.jp>

『火は消した?いつも心にきいてみて』

春の全国火災予防運動

期間 3月1日～3月7日

春は空気が非常に乾燥して、火災の発生しやすい季節です。恐ろしい火災から家族の尊い生命を守り、また大切な財産を失わないために、次の事に注意しましょう

「火の用心7つのポイント」

- 1 家のまわりに燃えやすいものを置かない。
- 2 寝たばこやたばこの投げ捨ては、しない。
- 3 天ぶらを揚げるときは、その場を離れない。
- 4 風の強いときは、たき火をしない。
- 5 子供には、マッチやライターで遊ばせない。
- 6 電気器具は正しく使い、たこ足配線はしない。
- 7 ストープには、燃えやすいものを近づけない。



地域の防災は

助け合い精神で

大災害が発生すると多数の負傷者が出ます。

平成7年1月17日早朝に発生した阪神、淡路大地震では救出された95%の方が、自力及び家族や隣人、友人に助けられたと言っております。

この大震災で、淡路島の北淡町では家が倒れて多くの方が下敷きになりましたが、かろうじて助かった皆さんが集まってきて救助活動をしました。

この救助活動で重要だったことは、誰が倒壊した家の中のどこにいるのか、普段どの部屋で寝ているのかまで皆がよく知っていたことです。そのおかげで、屋前までに9割の被災者を救出し、最後の一人も夕方には助け出されました。

この救出活動は、「近所の底力」で、日頃からの助け合い精神が成果を上げた事例です。

自主防災組織は、地域住民が助け合いの精神で『自分たちの街は自分たちで守る』を合言葉に活動しようとするものです。

もう一度、考えてみませんか自主防災組織について:



住宅用防災

機器を備えよう

消火器には粉末の薬剤を放射するもの、薬液を霧状で放射するものなどがあります。また、従来からの消火器のほかに、住宅用としてホースがなく、レバーのみのタイプのものや、エアゾール式の簡易消火器具が開発されています。住宅の実情に合わせて選びましょう。



* 悪質な訪問販売、訪問点検に注意しましょう

住宅用消火器のお問い合わせは消防署
または、日本消火器工業会まで TEL 03-3866-6258

パート2
消火器

平成16年の火災件数

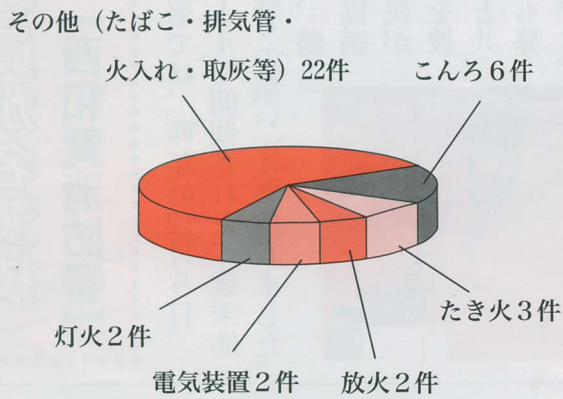
平成16年中に北上地区消防組合管内（北上市、湯田町、沢内村）で発生した火災は37件で、前年（49件）に比べ12件減少しました。

焼損棟数は25棟、建物焼損面積は1,107平方メートルで、火災損害額は9,929万8千円となっています。

火災種別では、建物火災が24件、その他火災（空地・休耕田等の枯れ草）が7件、車両火災が3件、林野火災が3件となっています。

出火原因は、こんろ・たき火・放火・電気装置・灯火の順となっており、火災による死者は、1人で、前年（2人）に比べ1人減少しました。

出火原因別火災件数
(総件数37件)



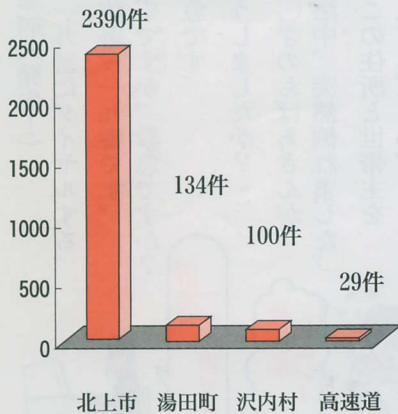
平成16年の救急出動件数

平成16年中に救急車が出動した件数は、2,653件で一日平均約7件出動しています。

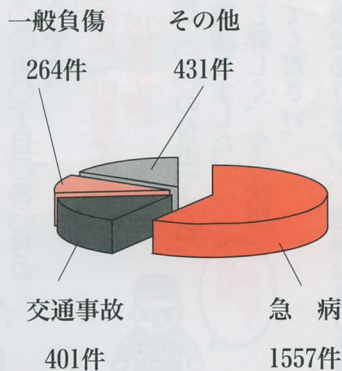
また、救急車で病院に搬送された人は、2,588人で、管内の39人に一人が利用したことになります。

市町村別の出動した件数は、北上市2,390件、湯田町134件、沢内村100件、高速道29件、高速道等29件となっています。

市町村別救急出動件数
(総件数2,653件)



救急出動件数
(総件数2,653件)



気管挿管にご協力のお願い

昨年7月から救急救命士が救急現場や搬送中の傷病者に対し、気道を確保するための気管チューブを挿入することが認められました。救急救命士がこの気管挿管を行うためには、医師の指導のもと、患者さんの同意を得ての病院実習が必要となります。皆様のご理解とご協力をお願いします。一刻を争う救急現場では、気管挿管が必要な場合があります。気管挿管により救える命があります。

応急手当とAED (Automated External Defibrillator) 自動体外式除細動器

心筋梗塞などから心室細動（痙攣）になり心臓が止まった場合、心臓に電流を流す電気ショックにより正常な脈に戻すことができます。AEDという機器が効果的です。心臓停止の場合、いち早い処置が必要のため、一般住民でも使用できるようにしました。そのため、一般市民を対象とした講習会を近々開催予定です。

救急車が到着する前に、その場に居合わせた人により、AEDによる電気ショックをはじめ、心臓マッサージや人口呼吸といった心肺蘇生処置をしていただければ、より多くの命を救うことができますのでご協力ください。また、体育館や文化会館など、多くの人々が集まる施設でのAEDの早期設置が望まれます。

(問合せ先・警防課救急係 ☎65-5175)

消防署員が名演技

【西和賀消防署】

西和賀消防署では、昨年の12月5日、湯田町銀河ホールで開催された、歳末助け合い「歌と踊りの集い」に参加しました。

この催しは、湯

田町社会福祉協議会が主催し町民が歌や踊りなどを披露し、入場者と共に出演者からも募金を頂くものです。

自分たちは「消防」もやまばなしの題目で寸劇をやり、地元方言で火災時の対応や心肺蘇生法を熱演し、満員のお客さんにも理解していただき大成功でした。

短い練習期間で不安もありましたが寸劇をととして地域の皆さんと交流できたことに満足しています。



～119番通報から救急出動するまで(急病の場合)～

通報者

(急病人発生!)
一一九番にダイヤルする。

消防署

消防署一一九番です。
火事ですか、救急ですか?

通報者

救急です。
どうしましたか?

消防署

〇〇才のおばあさんが
入浴中、突然倒れました。

通報者

その住所と世帯主を
教えてください。

消防署

北上市〇〇町〇丁目〇番〇号の
〇〇〇〇です。

※担当の署所に「出動予告指令」
(救急隊、出動準備)

消防署

(目標物) 〇〇の付近ですね。
場所を確認しました。

もう少し詳しく、今の状態
を教えてください。

通報者

脈、呼吸はありますが、意識はありません。
※担当の署所に「出動指令」
(救急隊、出動!)

消防署

かかりつけの病院、病名
を教えてください。

通報者

〇〇病院に高血圧症で
通院しています。

消防署

わかりました。
あなたのお名前と今おかけの
電話番号を教えてください。

通報者

名前は、〇〇〇〇です。
電話番号は、××××××××です。

消防署

わかりました。(出動途上の救急車に通報内
容を消防無線で送信する。)



地震災害時に たのもしい 救助資器材配備【北上消防署】

新潟中越地震で、山崩れに巻き込まれた車に残された2歳の男の子が奇跡的に救助されましたが、この時に活躍した救助資器材は、地中でも心臓の鼓動や呼吸を感知し、助けを求めている人を確認することができると救助資器材でした。昨年2月に更新した北上消防署の救助工作車にも災害時、人命検索用として3種類の救助資器材が搭載されています。

①画像探査機(ボークス)
見る、聞く、話すこと
により助けを求めている
人の状態及び位置を確認
することができます。

②ファイバースコープ
約1cmの隙間からカ
メラを挿入し内部を検
索することができます。



③熱画像直視装置(ケアンズバイパー)
暗闇や濃煙濃霧の中での人命検索や、残火確認処理
のときに使われます。

